

1. 損益及び設備投資の状況

- 営業収益は、音声＋IP関連収入が初めて対前年増となったこと、国・自治体が推進する光ブロードバンド整備に伴う受託収入の大幅増があったこと等により、対前年＋284億円となり、東日本会社発足以来、初の増収。営業費用は、対前年▲10億円となり、営業利益は対前年＋295億円の771億円。
- 東日本大震災からの応急復旧や被災設備の撤去等の費用として191億円の特別損失を計上。当期純利益は、対前年＋17億円の523億円。
- 設備投資は、NGNエリア拡大の収束、投資効率化の推進に加え、震災により光開通工程が減少したこと等の影響もあり、対前年▲482億円の4,065億円。

(単位:億円)

項 目	前 期 (H21年度)	当 期 (H22年度)	増 減 額
営 業 収 益	19,286	19,571	+ 284
営 業 費 用	18,810	18,799	▲ 10
営 業 利 益	476	771	+ 295
経 常 利 益	717	960	+ 243
特 別 損 益	98	▲191	▲ 290
当 期 純 利 益	505	523	+ 17

設 備 投 資 額	4,548	4,065	▲ 482
-----------	-------	--------------	-------